

2022年3月19日

個人投資家の皆様へ

日産化学(株)(証券コード:4021)
会社説明会資料

説明者 日産化学(株)
取締役副社長CFO 宮崎純一



Nissan Chemical
CORPORATION

**Institutional
Investor**
2021 JAPAN EXECUTIVE TEAM
MOST HONORED COMPANY
NISSAN CHEMICAL CORPORATION

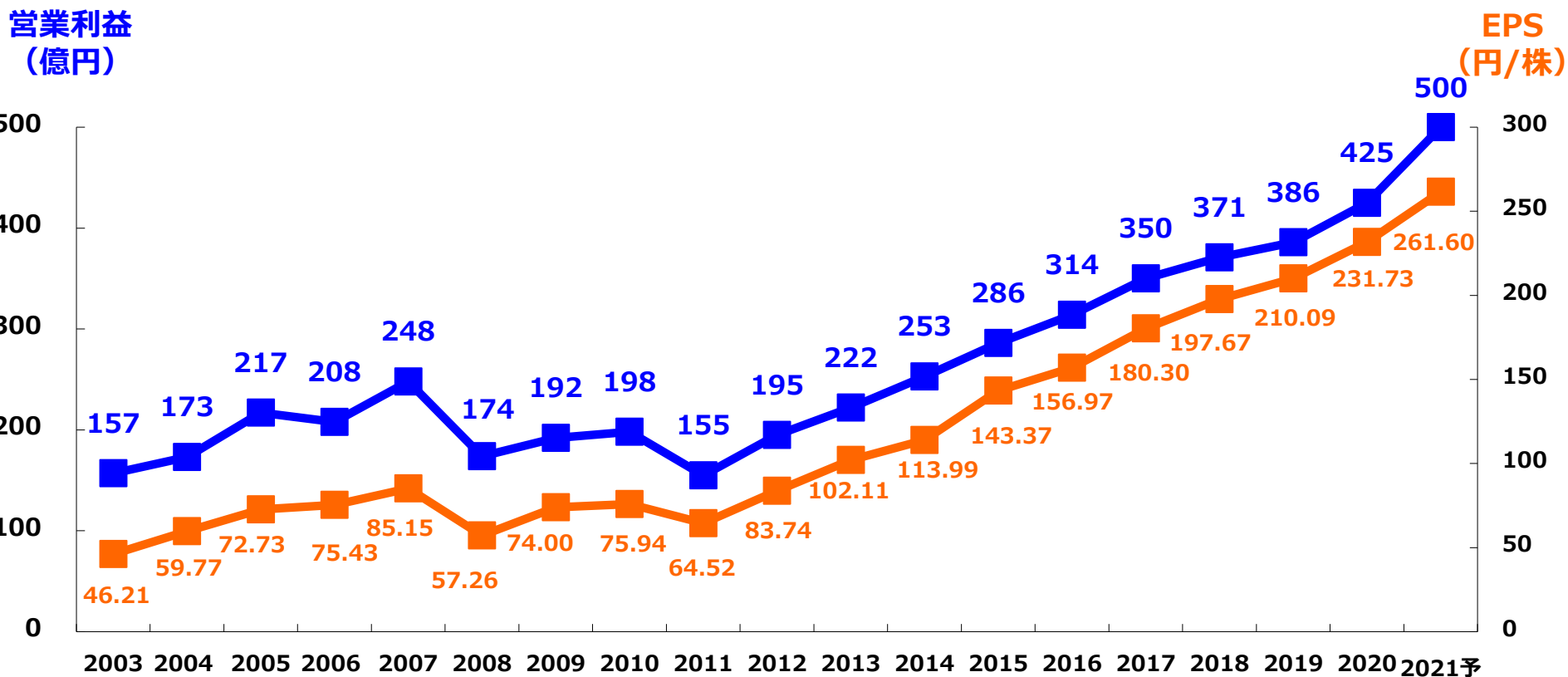
会社概要

1. 創業：1887年(明治20年)
高峰譲吉、渋沢栄一、益田孝らの明治の先覚者により、我が国初の化学肥料製造会社である東京人造肥料会社として創業、その後様々な化学分野に展開
2. 普通株式/資本金：
143百万株/18,942百万円 (2022年3月現在) 東証1部上場
3. 従業員数：連結2,688人 単体1,924人 (2021年3月現在)
4. 主な事業内容：
 - (1)機能性材料事業 (ディスプレイ材料、半導体材料、無機コロイド等)
 - (2)農業化学品事業 (農薬、動物用医薬品等)
 - (3)医薬品事業 (自社創薬、原薬・中間体製造/プロセス研究/GE原薬供給等)
 - (4)化学品事業 (アンモニア・硫酸系基礎化学品、ファインケミカル等)

長期業績推移① 営業利益・EPS

2012年度以降、一貫して上昇

※EPS：一株当たり当期純利益(Earnings Per Share)(=当期純利益÷発行済み株式数)



*2022/2発表

※本資料における「当期純利益」は、「親会社株主に帰属する当期純利益」を指す

※本資料における「2021予想」は、2022年2月4日発表ベース

長期業績推移② 主要数値

営業利益・経常利益（7年連続）、当期純利益（8年連続）

それぞれ過去最高を更新、2021年度もコロナ禍でも過去最高を更新する予想

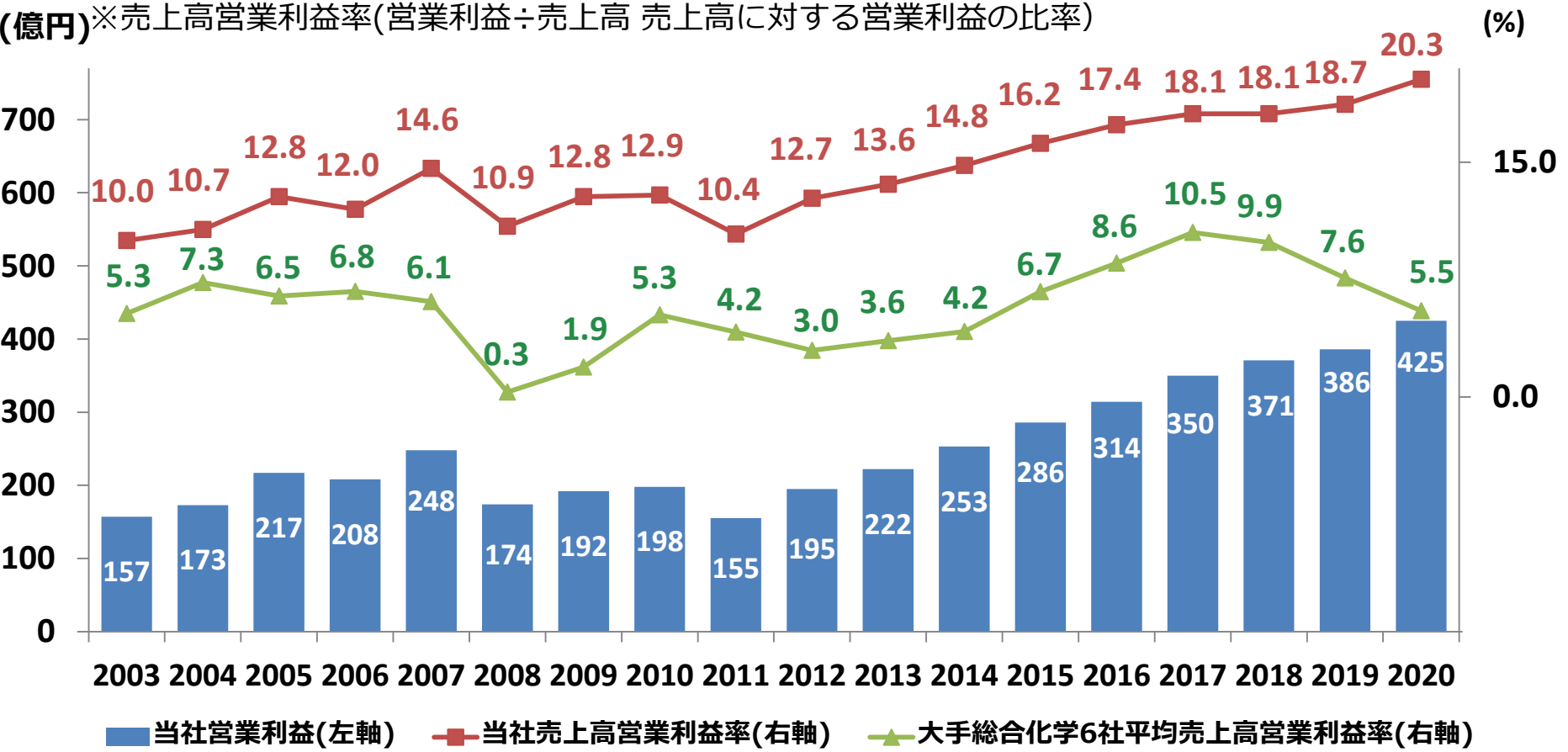
(億円)

	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021予*
売上高	1,559	1,614	1,691	1,744	1,692	1,602	1,490	1,542	1,486	1,538	1,637	1,712	1,769	1,803	1,934	2,049	2,068	2,091	2,083
営業利益	157	173	217	208	248	174	192	198	155	195	222	253	286	314	350	371	386	425	500
経常利益	146	174	213	212	244	169	192	194	159	205	237	264	295	317	362	391	400	439	518
当期純利益	87	113	137	140	155	101	128	130	110	139	167	182	224	240	271	294	308	335	373
売上高営業利益率	10.0%	10.7%	12.8%	12.0%	14.6%	10.9%	12.8%	12.9%	10.4%	12.7%	13.6%	14.8%	16.2%	17.4%	18.1%	18.1%	18.7%	20.3%	24.0%
ROE	13.4%	15.2%	16.1%	14.7%	15.6%	10.3%	12.6%	11.9%	9.5%	11.4%	12.7%	12.7%	14.6%	15.1%	16.1%	16.6%	16.9%	17.5%	18.6%
EPS (円/株)	46.21	59.77	72.73	75.43	85.15	57.26	74.00	75.94	64.52	83.74	102.11	113.99	143.37	156.97	180.30	197.67	210.09	231.73	261.60
配当 (円/株)	11	11	15	20	20	22	24	24	24	26	30	36	44	52	68	82	90	104	118
配当性向	23.8%	18.4%	20.6%	26.5%	23.5%	38.4%	32.4%	31.6%	37.2%	31.0%	29.4%	31.6%	30.7%	33.1%	37.7%	41.5%	42.8%	44.9%	45.1%
総資産	1,726	1,694	1,832	1,773	1,727	1,723	1,814	1,834	1,901	1,992	2,080	2,239	2,282	2,317	2,460	2,470	2,495	2,655	-
純資産	704	800	936	993	1,012	968	1,077	1,124	1,196	1,267	1,378	1,513	1,569	1,637	1,764	1,821	1,855	2,006	-
自己資本比率	40.1%	46.4%	50.2%	55.3%	58.0%	55.5%	58.7%	60.7%	62.4%	63.0%	65.7%	66.9%	68.1%	69.9%	71.0%	73.0%	73.7%	74.9%	-
R&D費用	87	86	92	99	125	137	131	126	136	137	142	150	158	161	172	178	172	165	164
同 売上高比率	5.6%	5.3%	5.4%	5.7%	7.4%	8.6%	8.8%	8.2%	9.2%	8.9%	8.7%	8.7%	8.9%	8.9%	8.9%	8.7%	8.3%	7.9%	7.9%

*2021予想：2022年2月発表。会計方針の変更による売上高減少を含む。

当社の特徴① 売上高営業利益率

1. 景気変動の影響を受けやすい化学業界にあって、
 長期にわたり安定的かつ高い売上高営業利益率を維持
 2003年度以降18年連続10%以上

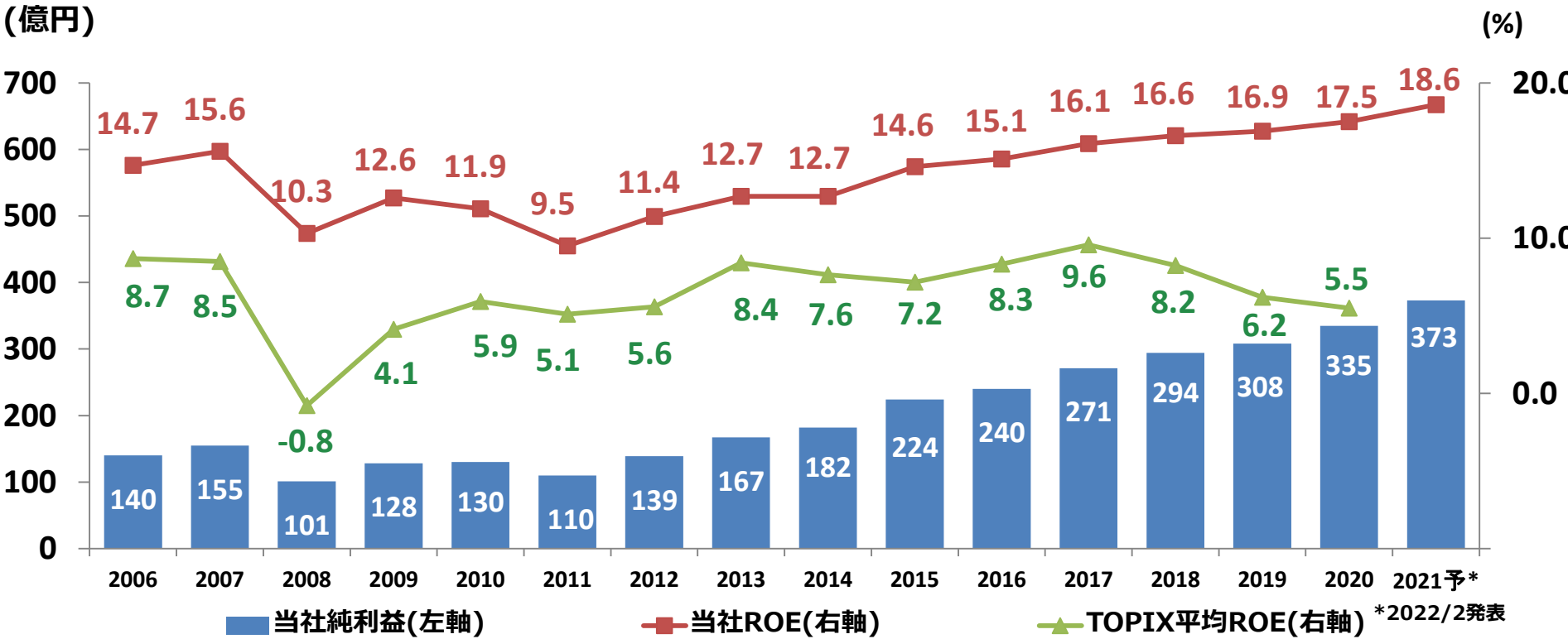


当社の特徴② ROE

2. ROEを従前より最重要の経営指標とし、高水準維持
 (2020年度実績17.5%、日本企業平均5.5%程度)

中期経営計画 (2019-21年度) 目標：16%以上維持

※ROE(Return on Equity：当期純利益÷自己資本)



当社の特徴③ 株主還元（配当）

3. 積極的な株主還元により自己資本水準をコントロールし、ROEの向上も図る

3-1) 配当性向（=配当/一株当たり当期純利益（EPS））

◆ 2015年度までは30%前後、2016年度から段階的に引上げ、現状45%

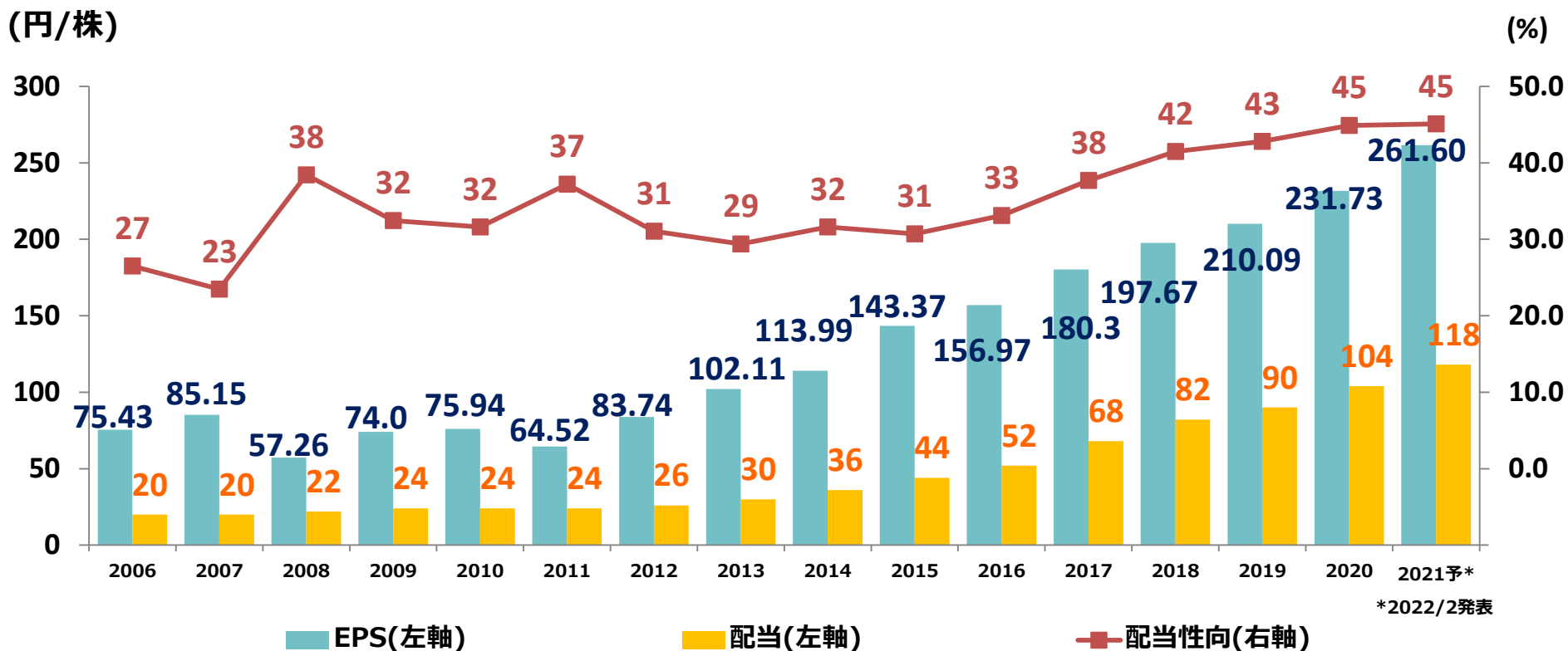
配当性向 中期経営計画（2019-21年度）目標と実績

	2019年度	2020年度	2021年度
中計目標	42.5%	45%	45%
実績/見込み	達成 42.8%	達成 45%	達成見込 45%

当社の特徴④ 株主還元（配当）

- ◆ EPS、配当、配当性向
- ◆ 2020年度まで9年連続増配

※EPS：一株当たり当期純利益(Earnings Per Share)(=当期純利益÷発行済み株式数)



当社の特徴⑤ 株主還元（配当、自己株式取得、株主総還元性向）

3-2) 自己株式取得

◆ ROE向上を目的に、2006年度から継続して実施
取得株は基本的に取得した年度に消却する方針

◆ 2006-20年度

取得総額925億円、取得総数4,271万株（取得開始前発行済株式数の22.8%）
消却済株数4,264万株

3-3) 株主総還元性向（(配当総額+自己株式取得額)÷当期純利益）

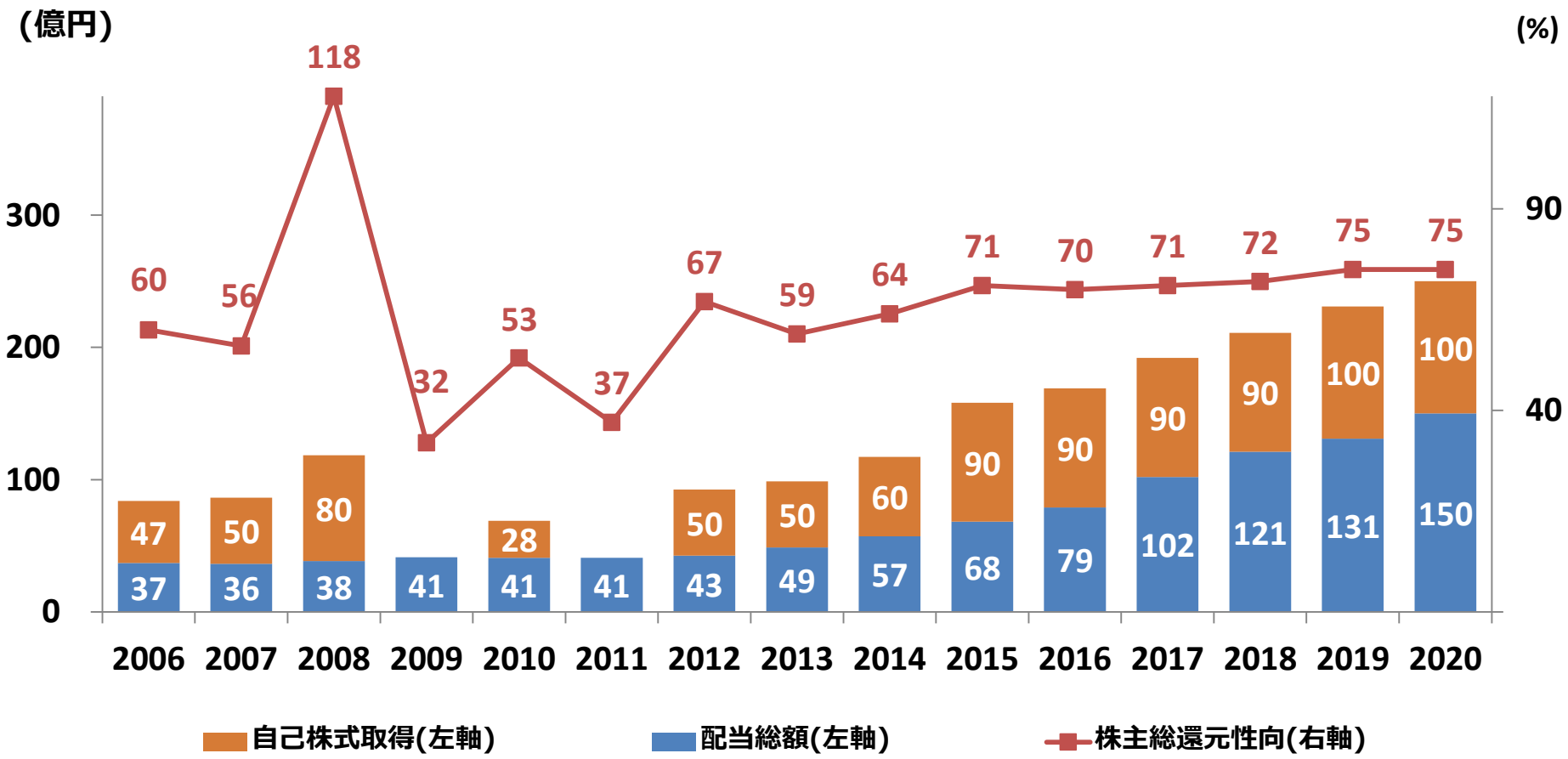
◆ 配当と自己株式取得を合わせた株主の皆様への積極的な利益還元の結果、
近年は70%台で推移（日本企業平均：45%程度）、
2020年度実績74.6%（配当44.9%、自己株29.7%）

総還元性向 中期経営計画（2019-21年度）目標と実績

	2019年度			2020年度			2021年度		
	総還元性向 ①=②+③	配当 ②	自己株 ③	総還元性向 ①=②+③	配当 ②	自己株 ③	総還元性向 ①=②+③	配当 ②	自己株 ③
中計目標	72.5%	42.5%	30%	75%	45%	30%	75%	45%	30%
実績/見込み	達成 75.1%	42.8%	32.3%	達成 74.6%	44.9%	29.7%	達成見込 77.1%	45.1%	32.0%

当社の特徴⑥ 株主還元（配当、自己株式取得、株主総還元性向）

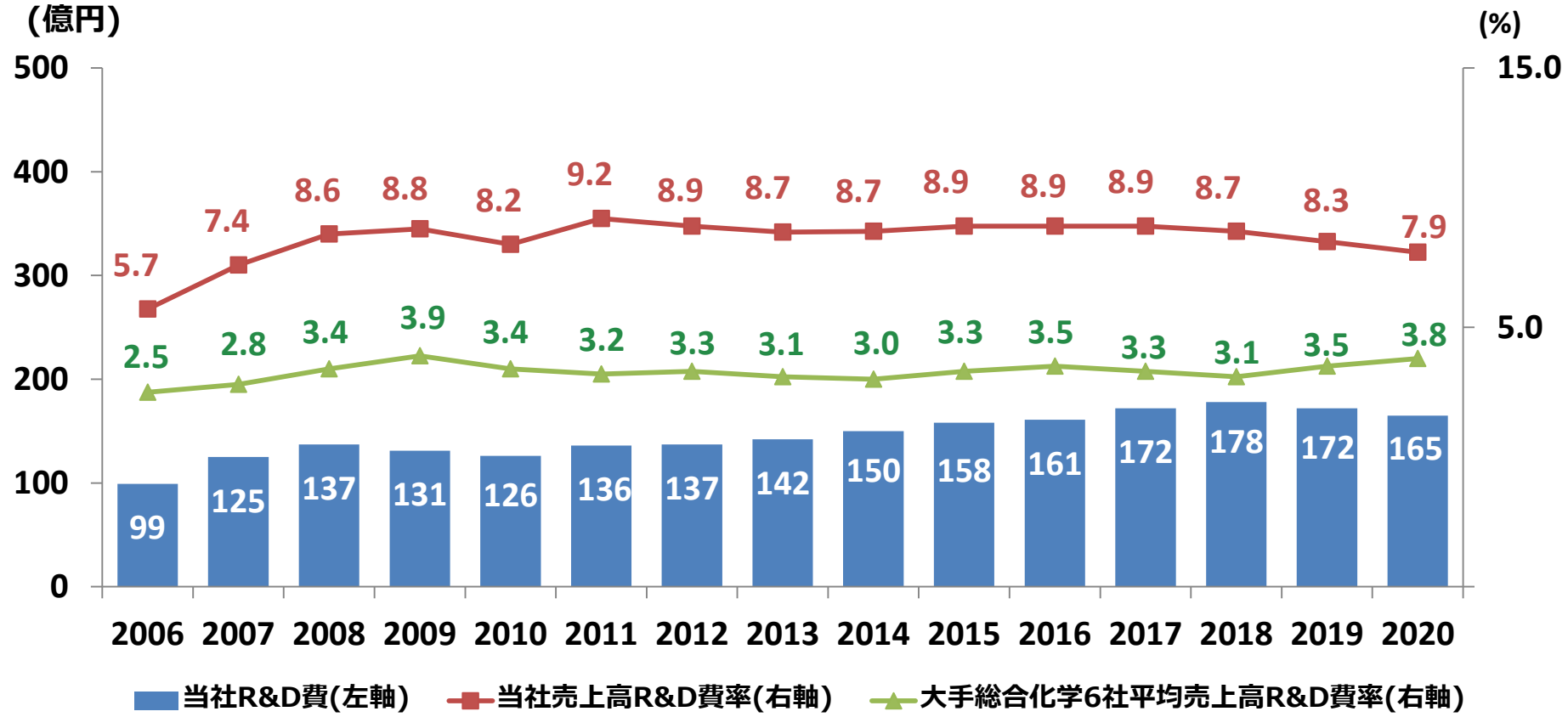
◆ 配当総額、自己株式取得額、株主総還元性向



当社の特徴⑦ 研究開発

4. 独自の革新的技術で社会の要請に応える未来創造企業

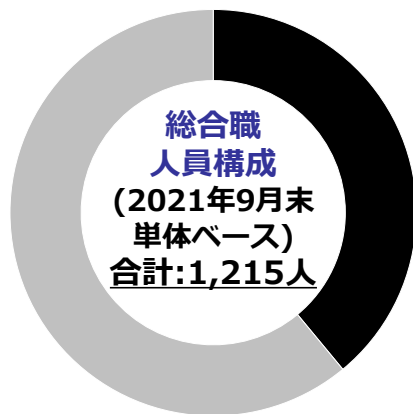
- ◆ R&Dを重視し、売上高R&D費率は8-9%と高水準を維持
- ◆ 総合職の約40%はR&D要員（単体ベース）



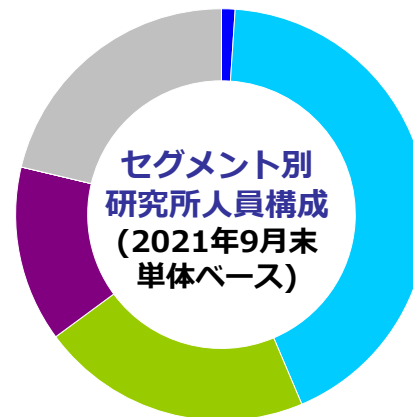
当社の特徴⑧ 研究開発

◆セグメント別研究開発費

セグメント	主要製品・分野	2020年度実績				
		売上高 (億円)	営業利益 (億円)	売上高 営業利益率	R&D費 (億円)	売上高 R&D費率
化学品	アンモニア系製品、硫酸系製品 ファインケミカル	319	15	4.7%	3	0.9%
機能性材料	液晶ディスプレイ用配向膜 半導体反射防止材	716	224	31.3%	70	9.8%
農業化学品	農薬	638	182	28.5%	44	6.9%
医薬品	リハビリ、ファインテック	67	4	6.0%	24	35.8%
コーポレート他	新製品	-	-	-	24	-
その他共合計		2,091	425	20.3%	165	7.9%



● 研究所 39%
● その他 61%



● 化学品
● 機能性材料
● 農業化学品
● 医薬品
● コーポレート他

東京証券取引所 第8回（2019年度） 企業価値向上表彰候補に選定

◆2020年1月、東京証券取引所が選ぶ

「企業価値向上表彰*」の

表彰候補として、2018年度に続き2年連続で、
約3,600社中の50社に選定された。

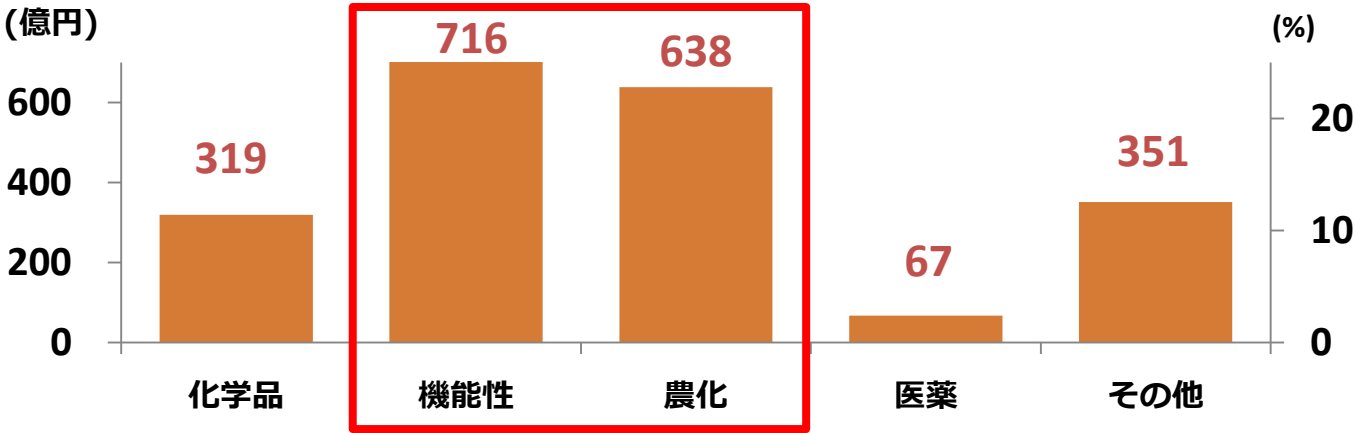
※2020年度は新型コロナウイルスの影響で表彰実施見送り

*東証に上場する企業のうち、資本コストやROEなど投資者の視点を強く意識した経営を実践し、高い企業価値の向上を実現している会社を表彰する制度

詳細：<https://www.jpx.co.jp/equities/listed-co/award/01.html>

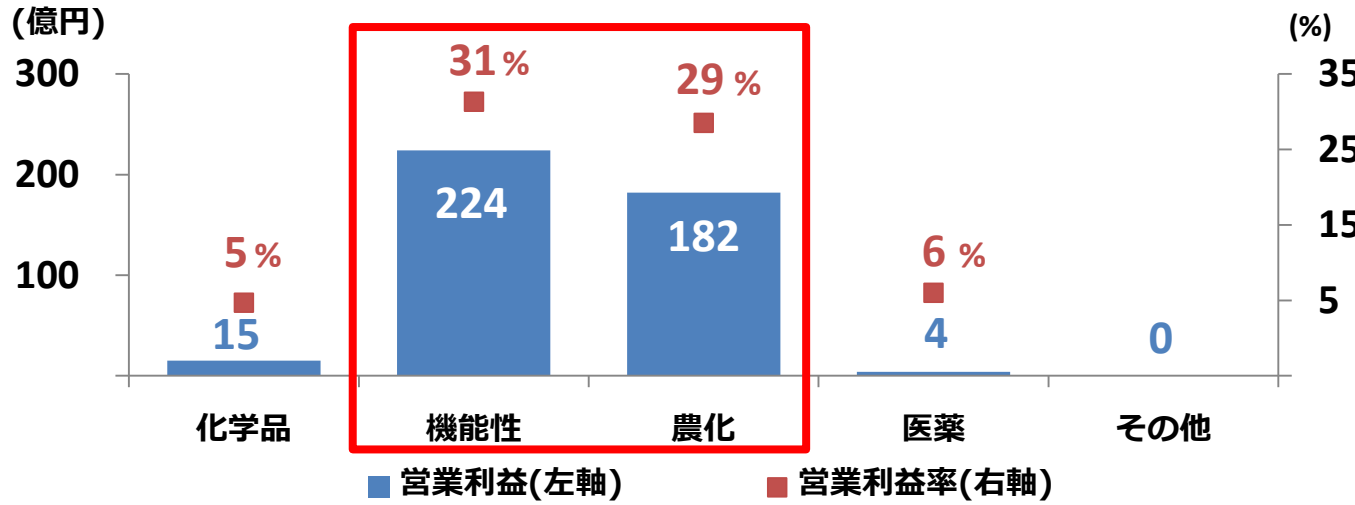
当社の事業構成① 2020年度

2020年度 売上高 本日ご説明：機能性材料、農業化学品



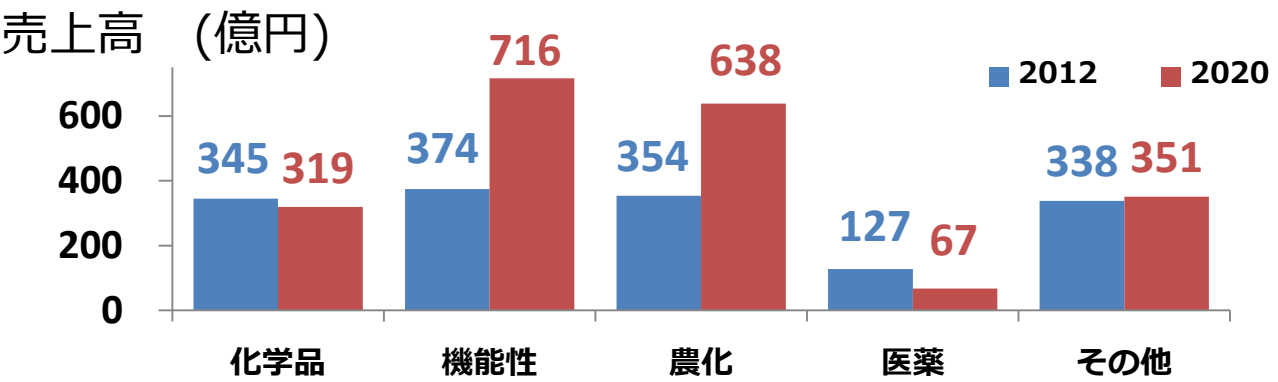
- (%)
- 化学品**
 - ・アンモニア
 - ・硫酸系基礎化学品
 - ・ファインケミカル
 - 機能性材料**
 - ・液晶ディスプレイ材料
 - ・半導体材料
 - ・無機コロイド

2020年度 営業利益・売上高営業利益率



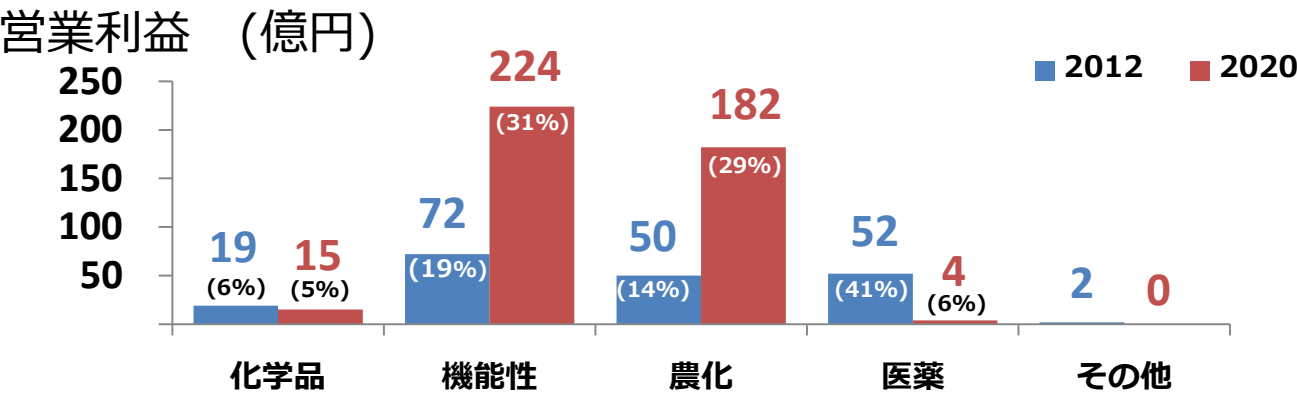
- 農業化学品**
 - ・農薬
 - ・動物用医薬品
- 医薬品**
 - ・自社創薬
 - ・原薬開発サポート
- その他**
 - ・卸売、物流、緑化、エンジニアリング

当社の事業構成② 2012年度と2020年度の比較



- 化学品
- ・アンモニア
 - ・硫酸系基礎化学品
 - ・ファインケミカル

- 機能性材料
- ・液晶ディスプレイ材料
 - ・半導体材料
 - ・無機コロイド



- 農業化学品
- ・農薬
 - ・動物用医薬品

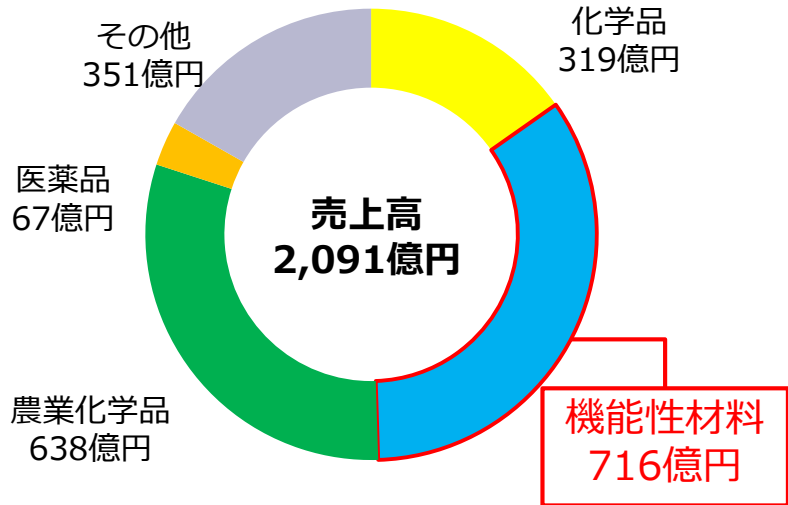
- 医薬品
- ・自社創薬
 - ・原薬開発サポート

- その他
- ・卸売、物流、緑化、エンジニアリング

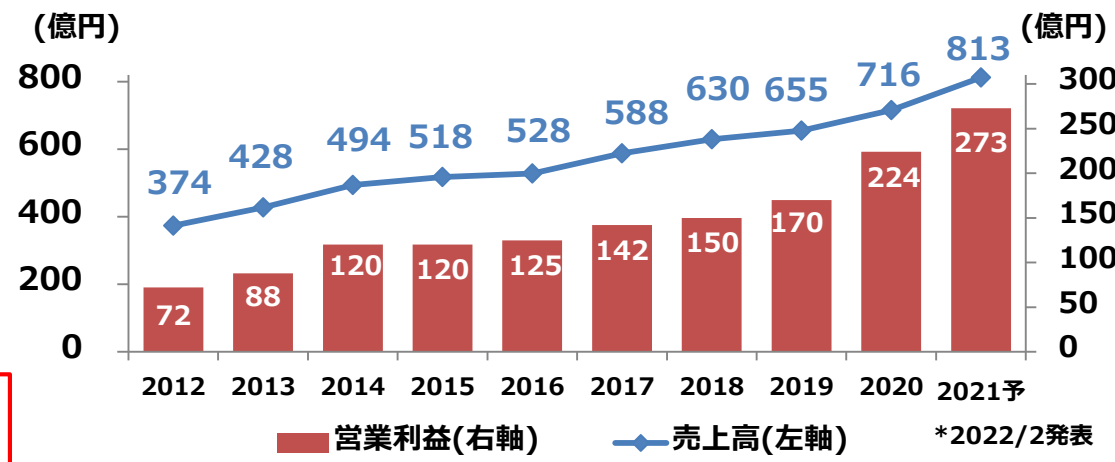
※()書きは営業利益率

機能性材料セグメント① 業績

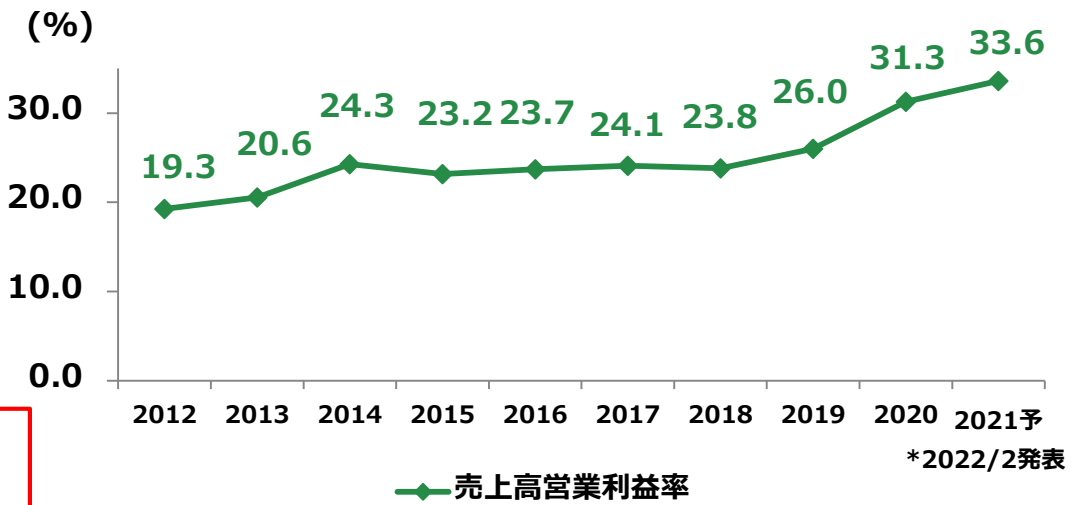
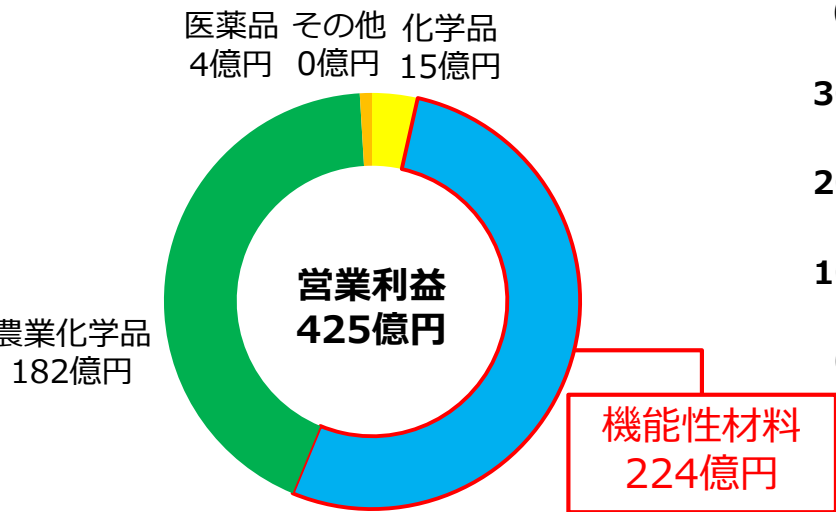
1. 2020年度 売上高構成



3. 機能性材料業績推移



2. 2020年度 営業利益構成



機能性材料セグメント② 特徴

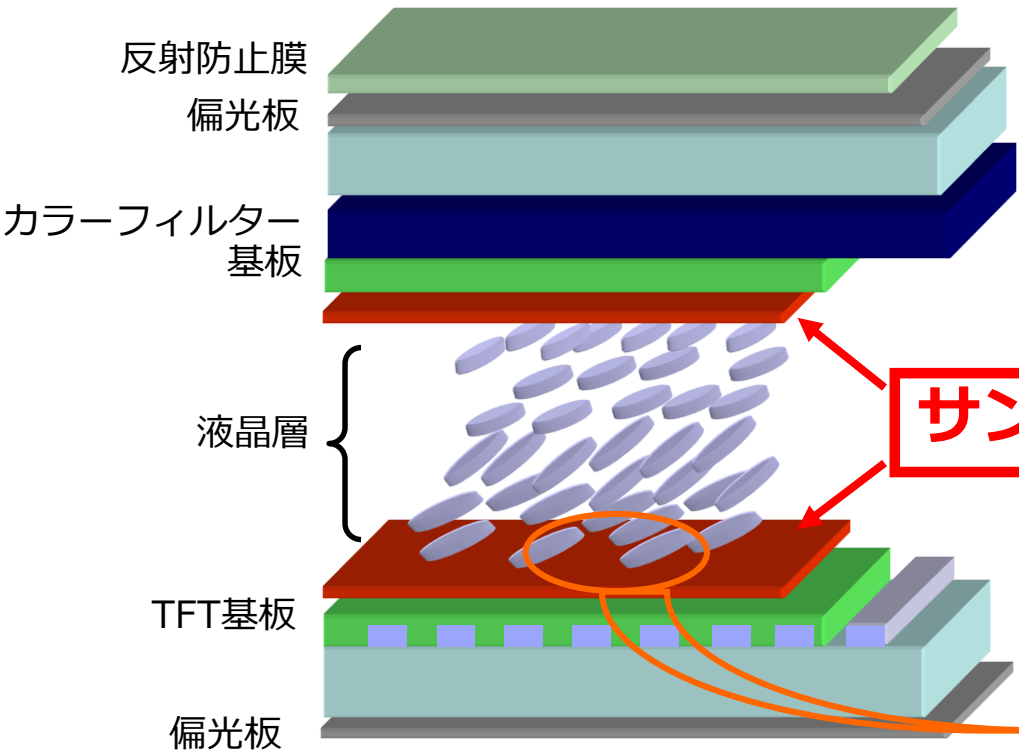
- ◆ 高収益源
- ◆ 世界市場シェアの高い製品を有す
- ◆ 新製品開発力（2020年度売上高研究開発費率9.8%）

機能性材料セグメント③ 液晶ディスプレイ材料

◆液晶ディスプレイ用配向膜 サンエバー

- ・液晶の向き、反応速度、コントラスト、解像度、焼き付きなどを制御する材料
- ・当社とA社が世界二大メーカー
- ・当社は光配向IPS技術を駆使し、スマホ・タブレット・ノートPC向けで優位

(液晶パネル断面図)



<タブレット・ノートPCの用途変化>

ビジネス

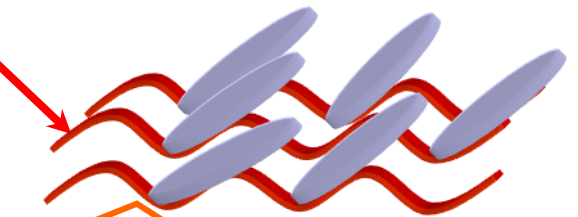


娯楽(TV、映画、ゲーム)、Web会議

⇒高精細な光配向IPSへ

サンエバー

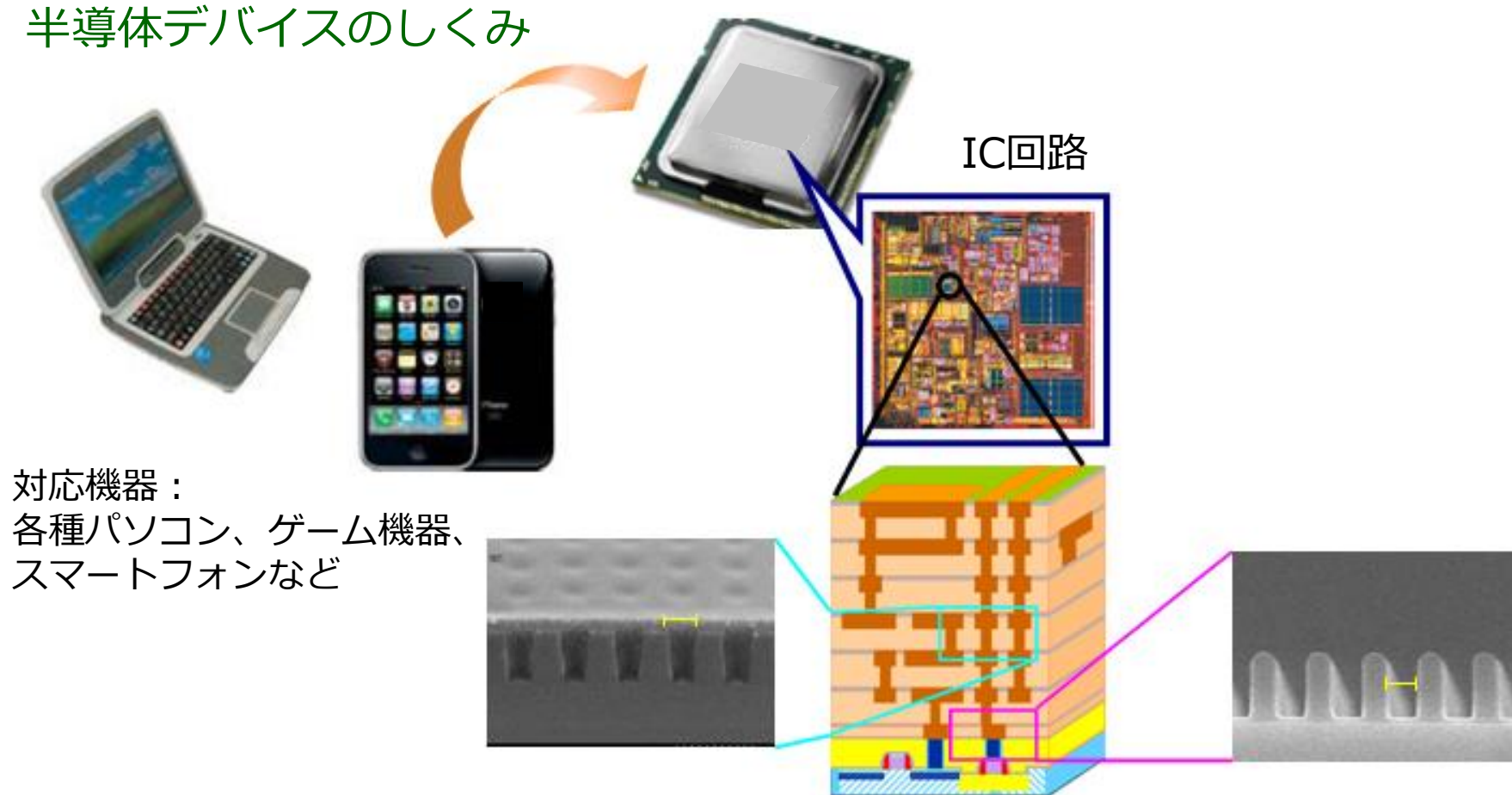
液晶分子



機能性材料セグメント④ 半導体材料

◆半導体反射防止コーティング材ARC®

半導体デバイスのしくみ



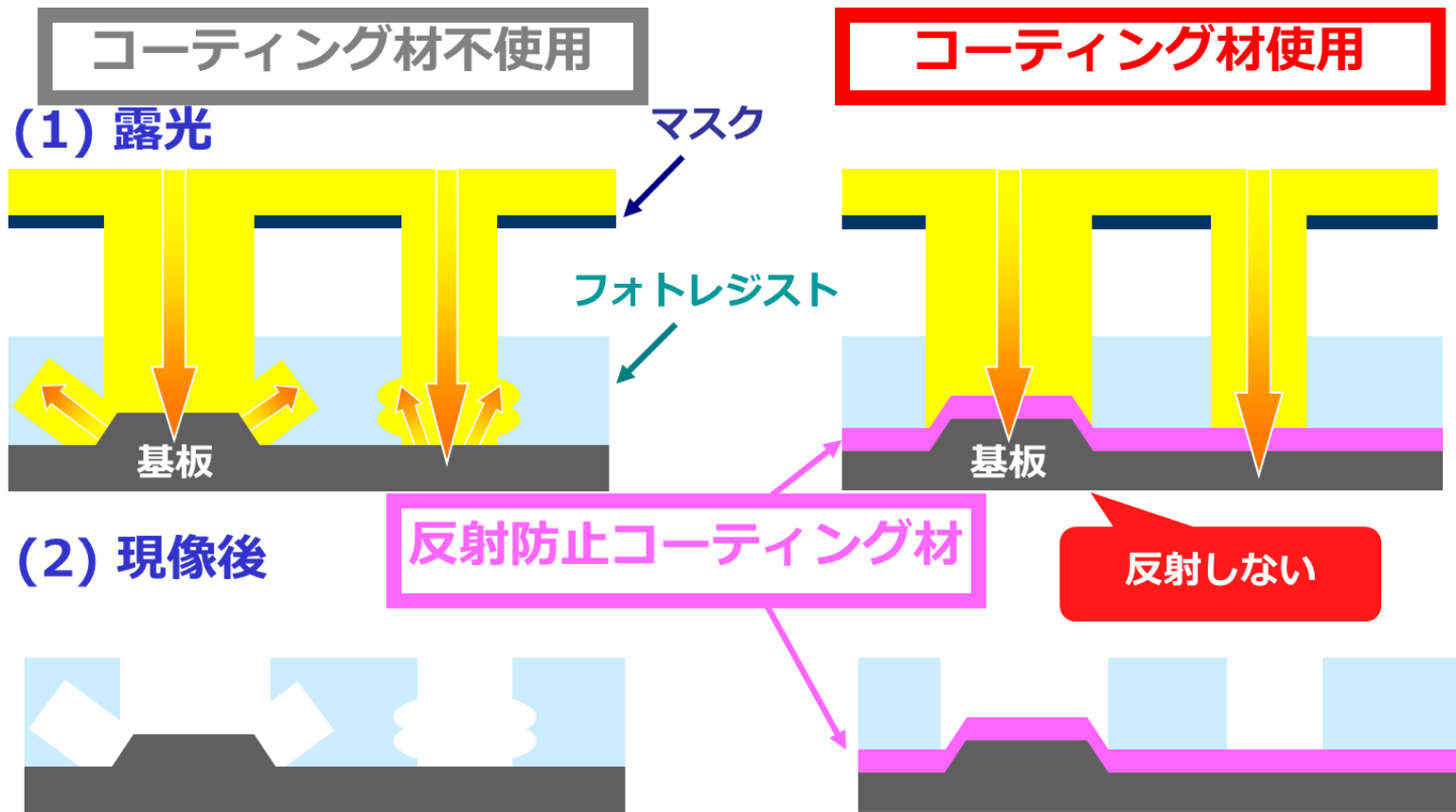
対応機器：
各種パソコン、ゲーム機器、
スマートフォンなど

次ページに拡大図

機能性材料セグメント⑤ 半導体材料

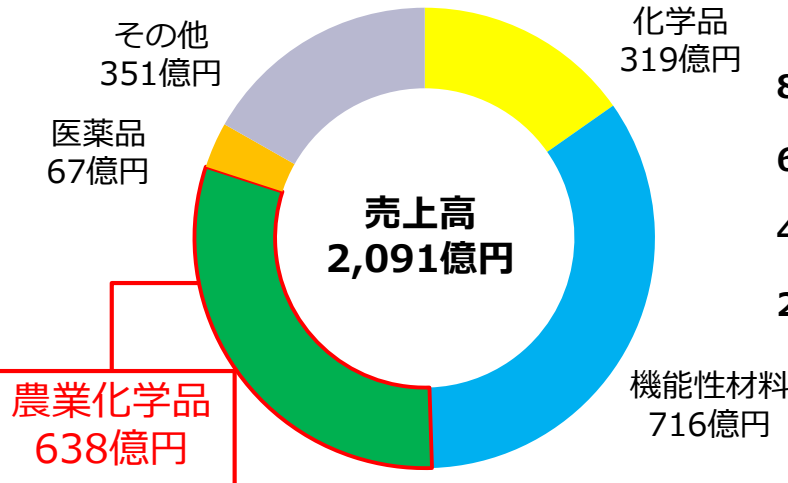
◆半導体反射防止コーティング材ARC®

- ・露光時に光の反射を防止することにより、微細なパターン形成を可能とする
- ・当社は、アジアで圧倒的最大のシェアを有し、アジアの半導体産業の成長とともに当社事業も拡大

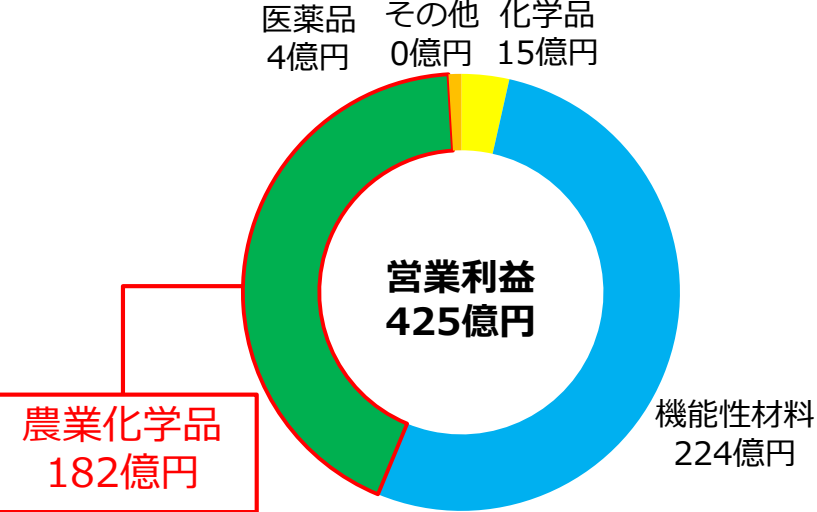


農業化学品セグメント① 業績

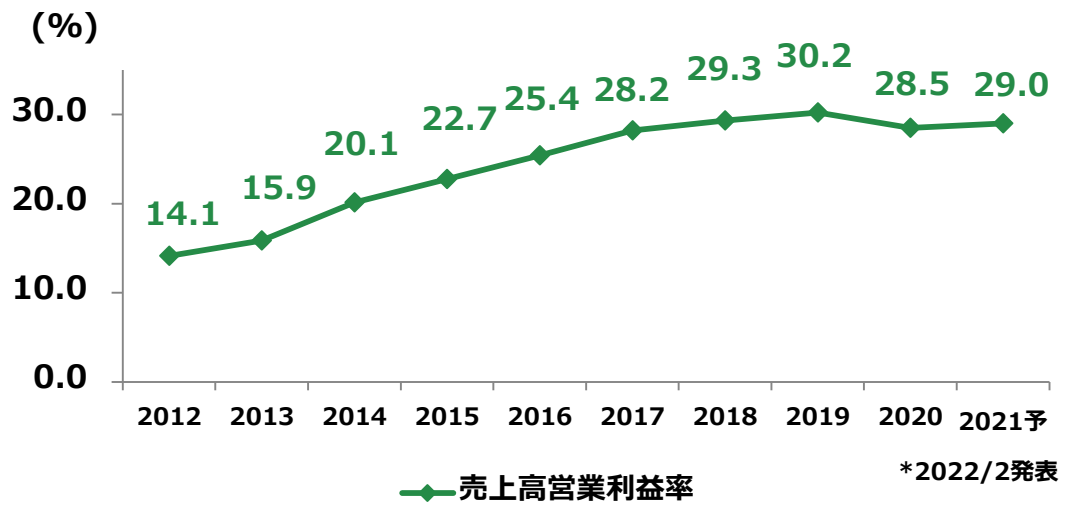
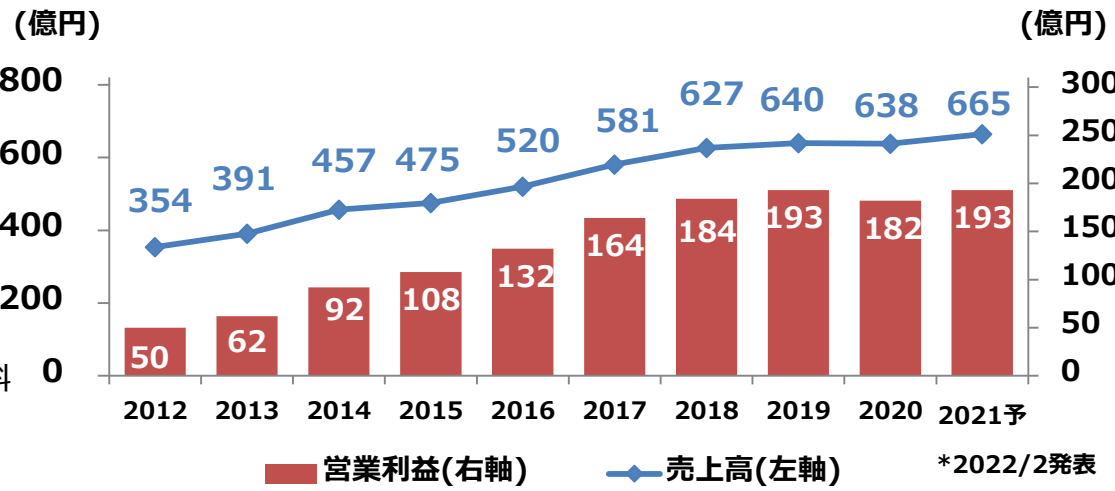
1. 2020年度 売上高構成



2. 2020年度 営業利益構成



3. 農業化学品業績推移



農業化学品セグメント② 特徴

- ◆ 新剤開発には、長期間、多額の研究開発費を要する
- ◆ 経済変動の影響が小さい安定的事業
- ◆ 自社開発新剤を柱に、剤の買収・導入による販売力強化
 - 2019年11月 殺菌剤クインテック買収
 - 2020年12月 殺菌剤ダイセン買収
(ともに米国コルテバ社より)
- ◆ 国内農薬販売額No.1 (2018年10月～2019年9月)
- ◆ 現在は、アルテア (水稻用除草剤)、フルララネル (動物用医薬品原薬)、グレーシア (殺虫剤) などを成長エンジンとして高成長

農業化学品セグメント③ 開発スケジュール



(当社開発品の一例、化合物ヒットの確率)

139,429 → 2 → 1



開発費100-150億円

農業化学品セグメント④ 主要製品

上市年度	製品名	分類	開発経緯	備考
2008	ライメイ	殺菌剤	自社開発	
2008	スターマイト	殺虫剤	自社開発	
2009	パルサー(チフルザミド)	殺菌剤	買収	米国ダウ社より世界事業を買収
2011	アルテア	除草剤	自社開発	2011年韓国で上市、2012年日本で上市
2013	フルラナレル	動物用医薬品原薬	自社開発	米国MSD社*向けにブラベクト原薬として出荷開始
2014	ブラベクト**	ペット動物用医薬品	-	2014年4月欧州、6月米国、15年7月日本で上市
2015	トレファノサイド	除草剤	導入	米国ゴーワン社がダウ社より買収、当社は国内販売独占権を継承
2017	ネクスター	殺菌剤	導入	スイス シンジェンタ社より導入
2017	トランスフォーム/エクシード	殺虫剤	導入	米国ダウ社より導入
2018	グレーシア	殺虫剤	自社開発	広範囲の重要害虫に有効。ミツバチへの影響が少ない 2018年韓国で上市(ピーク時売上高目標100億円)
2019	クインテック(キノキシフェン)	殺菌剤	買収	米国コルテバ社より世界事業を買収
2020	ダイセン(マンゼブ)	殺菌剤	買収	米国コルテバ社より日本・韓国事業を買収

新製品パイプライン

上市年度	製品パイプライン名	分類	開発経緯	備考
2023	未定(ピラプロポイン)(NC-241)	殺菌剤	自社開発	汎用性(ピーク時売上高目標50億円)
2024	未定(ジメスルファゼット)(NC-653)	除草剤	自社開発	イネへの優れた安全性があり、抵抗性ホタルイや難防除雑草クログワイに高い効果を持つ(ピーク時売上高目標30億円)
2027	未定(NC-656)	除草剤	自社開発	抵抗性イネ科雑草(ヒエ、アゼガヤ)に優れた効果を持つ 当社初の水稲用茎葉散布除草剤(ピーク時売上高目標100億円)

*MSD:米国メルク社の動物ヘルス事業部門のMSD Animal Health 社の略称 **ブラベクト:MSD社の販売製品名

農業化学品セグメント⑤ アルテア



問題の`根、は、
地下にありました。

ホタルイや多年生雑草の地上部を枯らすだけでなく、翌年の発生原因となる塊茎の形成も抑えることができます。新成分「アルテア」配合の水稲用除草剤シリーズが新登場。未来につながる雑草防除を、お勧めします。

誕生！多年生雑草も抑える新成分、「アルテア」配合の除草剤シリーズ。



<p>ツインスター 1キロ粒剤/ジャンボ/フロアブル 問題雑草に強い (アルテア+ダイムロン)</p>	<p>月光 1キロ粒剤/フロアブル ノビエにより長く (アルテア+カフスチロール+ダイムロン)</p>	<p>銀河 1キロ粒剤/ジャンボ 抵抗性雑草*により強く (アルテア+ダイムロン+ピラクロニル)</p>	<p>コメット 1キロ粒剤/ジャンボ/顆粒 抵抗性雑草*に効果アップ (アルテア+チアルルホリン+ピラクロニル)</p>	<p>アルテア配合 地上部だけでなく 地下部も…</p>
--	--	---	---	--------------------------------------

日産化学工業株式会社 〒101-0054 東京都千代田区神田藤町3-7-1 TEL:03 (3296) 8141 <http://www.nissan-agro.net/>
*SU(スルホニルウレア) 抵抗性雑草
 ©は日産化学工業(株)の登録商標

◆アルテア

- ・ホタルイやカヤツリグサ科多年生雑草に卓効を示す広スペクトラム除草剤
- ・従来のスルホニルウレア系除草剤に抵抗性を示す雑草にも有効
- ・日本、韓国、中国で販売中

農業化学品セグメント⑥ フルララネル

◆フルララネル (Fluralaner)

- ブラベクト・エグゾルトの有効成分として、当社が開発し、米国メルク社に全量供給
- ブラベクトシリーズ・エグゾルトは現在100か国以上で販売中
- 化合物特許：2025年3月に終了するが、EU諸国では2029年2月まで特許延長済み、米国は延長申請中

◆ブラベクト (BRAVECTO)

- 米国メルク社が開発したペット用外部寄生虫薬
- 犬・猫のノミ、マダニの主要種に対し即効性に優れる
- 通常1か月毎に投薬する既存製品より殺虫効果の持続性が長く、12週間にわたって持続する
- 犬向けチュアブルタブレット（経口投与製剤）
- 犬・猫向けスポットオン製品（経皮投与製剤）

◆ブラベクトプラス (BRAVECTO Plus)

- 猫向け外内部寄生虫スポットオン合剤

◆エグゾルト (EXZOLT)

- 鶏向けワクモ駆除剤（飲水投与）



農業化学品セグメント⑦ グレーシア

速く効く。
あこの害虫にも効く。
だから、
収量に差がつく。

効きの速さ
有効成分が直接害虫に作用するから、作物が食べられる前に駆除できる。

対象害虫の幅広さ
チョウト目害虫やアザミウマなど幅広い害虫にも効く。

大切な作物の食害を抑え、収量を確保したい。決め手は「効きの速さ」と「対象害虫の幅広さ」。食べられる前に害虫を駆除、新規殺虫剤 グレーシア。

新発売 **グレーシア** 乳剤
野菜・茶用殺虫剤

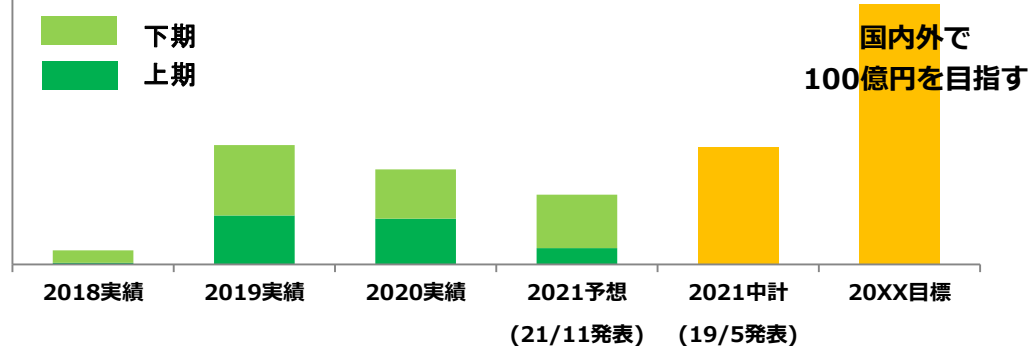
- 新規有効成分フルキサメタミド配合。抵抗性コナガにも卓効
- 葉内に薬剤が浸透、葉裏の害虫も選治
- 幅広いチョウト目害虫に効果
- 殺虫効果は約2週間持続

日産化学株式会社

◆グレーシア

- 野菜、茶用殺虫剤
- 広範囲の害虫に有効で、既存剤に抵抗性を示す害虫にも効果を発揮
- 有効成分が直接害虫に作用し、速く効く
- ミツバチへの影響が少ない
- 日本、韓国、インドなどで販売中

◆グレーシア売上高成長予想



セグメント別売上高、営業利益推移⁽¹⁾⁽²⁾

<売上高>

(億円)

	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
化学	345	355	343	343	348	349	357	343	319
機能	374	428	494	518	528	588	630	655	716
農化	354	391	457	475	520	581	627	640	638
医薬	127	116	88	87	80	75	70	70	67
卸売	466	507	544	556	552	595	679	679	698
他	212	214	209	209	240	215	246	224	238
調整	-340	-374	-423	-419	-465	-469	-560	-543	-585
合計	1,538	1,637	1,712	1,769	1,803	1,934	2,049	2,068	2,091

<営業利益>

化学	19	19	19	39	38	34	30	13	15
機能	72	88	120	120	125	142	150	170	224
農化	50	62	92	108	132	164	184	193	182
医薬	52	49	23	20	17	12	10	9	4
卸売	14	15	17	18	17	18	20	21	25
他	7	8	6	5	10	6	9	7	8
調整	-19	-19	-24	-24	-25	-26	-32	-27	-33
合計	195	222	253	286	314	350	371	386	425

(1)2011：旧セグメント、2012-：新セグメント (2)売上高はセグメント間の内部売上高又は振替高を含む

セグメント別売上高営業利益率推移

<売上高営業利益率>

	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
化学	5.5%	5.4%	5.5%	11.4%	10.9%	9.7%	8.4%	3.8%	4.7%
機能	19.3%	20.6%	24.3%	23.2%	23.7%	24.1%	23.8%	26.0%	31.3%
農化	14.1%	15.9%	20.1%	22.7%	25.4%	28.2%	29.3%	30.2%	28.5%
医薬	40.9%	42.2%	26.1%	23.0%	21.3%	16.0%	14.3%	12.9%	6.0%
卸売	3.0%	3.0%	3.1%	3.2%	3.1%	3.0%	2.9%	3.1%	3.6%
他	3.3%	3.7%	2.9%	2.4%	4.2%	2.8%	3.7%	3.1%	3.4%
合計	12.7%	13.6%	14.8%	16.2%	17.4%	18.1%	18.1%	18.7%	20.3%

中期経営計画 Vista2021 Stage II (2019-2021)

2030年の企業像へ至る通過点として、2021年の
あるべき姿を明確に示し、成長の道標とする

2021年のあるべき姿

機能性材料および農業化学品事業が業績を牽引し、
次の成長エンジンが生まれている

挑戦を楽しむ組織が実現し、多様な人材が目標に向かって
能力を発揮している

事業活動を通じて、社会の持続的な発展に貢献している

中期経営計画 Vista2021 Stage II (2019-2021)

経営指標

	2018 実績	2019 実績	2020 実績	2021 予想 <small>2022/2発表</small>	2021 中計目標
売上高営業利益率	18.1%	18.7%	20.3%	24.0%	18%以上
ROE	16.6%	16.9%	17.5%	18.6%	16%以上
配当性向	41.5%	42.8%	44.9%	45.1%	19年度 42.5% 20年度以降 45%
株主総還元性向	72.0%	75.1%	74.6%	77.1%	19年度 72.5% 20年度以降 75%

2021年度は、コロナ禍にもかかわらず、中計目標を大幅に超過達成する見込み

中期経営計画 Vista2021 Stage II (2019-2021)

数値目標

単位：億円

	2018 実績	2019 実績	2020 実績	2021 中計 ①	2021 予想 ② 2022/2発表	21年 中計比 ②-①
売上高	2,049	2,068	2,091	2,350	2,083	-267
営業利益	371	386	425	430	500	+70
経常利益	391	400	439	440	518	+78
純利益 ※	294	308	335	330	373	+43

※純利益は、親会社株主に帰属する純利益を指す

EPS(円/株)	197.67	210.09	231.73	230.00	261.60	+31.60
ROE	16.6%	16.9%	17.5%	16%以上	18.6%	-
為替(円/ドル)	111	109	106	110	110	0

2021年度は、コロナ禍にもかかわらず、中計目標を大幅に超過達成する見込み

中期経営計画 Vista2021 Stage II (2019-2021)

セグメント別営業利益

単位：億円

	2018 実績	2019 実績	2020 実績	2021 中計 ①	2021 予想 ② 2022/2発表	21年 中計比 ②-①
化学品	30	13	15	51	32	-19
機能性材料	150	170	224	173	273	+100
農業化学品	184	193	182	211	193	-18
医薬品	10	9	4	7	6	-1
その他*	-3	1	0	-12	-4	+8
合計	371	386	425	430	500	+70

* その他: 卸売、その他、調整

ESG(環境・社会・ガバナンス)への取り組み

①外部からの評価・ESGインデックス等

◆ESGインデックス等（2021年度）

- 健康経営優良法人ホワイト500に認定（6年連続）
- ESGインデックスの構成銘柄に選定
 - ・ S&P/JPX カーボン・エフィシエント指数（3年連続）
 - ・ FTSE4Good Index Series（2年連続）
 - ・ FTSE Blossom Japan Index（2年連続）
 - ・ Dow Jones Sustainability Asia Pacific Index（4年連続）
 - ・ MSCI日本株女性活躍指数（WIN）
- 気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）提言への賛同を表明
- 「統合レポート2021」を発行
 - https://www.nissanchem.co.jp/ir_info/archive/ar/ar2021.pdf
- CDP 水セキュリティ「Aリスト」選定（3年連続）
- ダイバーシティステートメントおよびダイバーシティビジョンを設定

◆ガバナンス

- 2019年4月 指名・報酬諮問委員会設置（取締役会の任意の諮問機関）
- 2019年6月 取締役等を対象に業績連動型株式報酬制度導入（株式給付信託）
社外取締役を1名増員し、取締役人数9名（うち社外3名）
- 2021年6月 女性取締役を1名増員し、取締役人数10名（うち社外4名）

ESG(環境・社会・ガバナンス)への取り組み

②温室効果ガス (GHG) 排出削減長期目標

2021年1月

温室効果ガス (GHG) 排出削減長期目標を設定

中期経営計画Vista2021(2016-2021年度) 目標:

2021年度までに、2011年度比 20%削減



2019年度の段階で、2011年度比 27%削減を達成済

新長期目標:2030年度までに、2018年度比 30%削減


温室効果ガス (GHG) 排出量 (CO2換算、千トン、単体ベース)

年度	2011	2018	2019	2020	2021	2030
中期経営計画Vista2021	-	-	-	-	359	-
実績	448	363	327	318	-	-
新長期目標	-	-	-	-	-	254
大手総合化学4社平均	-	-	5,845	5,581	-	-

ESG(環境・社会・ガバナンス)への取り組み

③温室効果ガス以外の主要課題 (抜粋)

(統合レポート2021 P29-30参照)

課題	環境配慮型製品 サービスの提供	生活の質の向上への貢献	食糧問題への貢献
当社の 取り組み	ディーゼル車の排出ガス浄化用の高品位尿素の販売、未利用エネルギーの活用に資する環境発電材料の開発	ペット向け動物用医薬品原薬の探索と提供、飲料水用殺菌消毒剤の販売	農作物の収量拡大と農業の省力化につながる農薬の供給、動物用医薬品原薬の家畜への展開
2021年度 目標 (KPI)	新たな環境配慮型製品の上市	飲料水用殺菌消毒剤による貢献 2,500千人/年	農薬売上高 18年度比10%増
2020年度 実績	有機薄膜太陽電池材料:海外展開進展 二次電池材料:新規材料開発注力 ORGABEADS®:マイクロプラスチックビーズの代替材料用途として開発進展	1,100千人/年	18年度比9.8%増
SDGs*との 関連			

* SDGs : Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標) の略称
2030年までの国際目標であり、17のゴールと169の具体的なターゲットで構成される

ESG(環境・社会・ガバナンス)への取り組み

④温室効果ガス以外の主要課題 (抜粋)

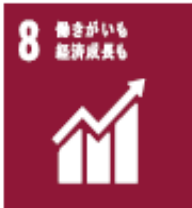




(統合レポート2021 P29-30参照)

課題	従業員の健康維持向上	働きやすい職場づくり	人材の確保・育成	ダイバーシティの推進
当社の取り組み	健康推進委員会による健康推進施策の検討、メンタルヘルスチェック	ワークライフバランスの推進、ハラスメント対策、育児・介護支援	教育・能力研修の提供、海外留学制度の導入	女性の活躍推進、外国人留学生の採用、障がい者雇用の推進
2021年度目標 (KPI)	ホワイト500の継続取得	年次有給休暇取得率80%以上	一人当たり研修時間 2017年度比10%増	総合職に占める 女性社員比率10%
2020年度実績	2016年度より5年連続で取得	年次有給休暇取得率71.0%	11時間:完全オンライン、 内容刷新による充実化 (2017年度 11時間)	10.2%
SDGsとの関連				

ESG(環境・社会・ガバナンス)への取り組み

⑤温室効果ガス以外の主要課題（抜粋）

(統合レポート2021 P29-30参照)

課題	産業廃棄物・汚染物質の排出削減
当社の取り組み	廃棄物の再利用や再資源化、中間処理方法の変更による最終処分量の削減
2021年度目標 (KPI)	リサイクル率99.5%以上 排ガス (SOX+NOX) 排出量13年度比 △75%
2020年度実績	リサイクル率97.3% 排ガス排出量13年度比 △66%
SDGsとの関連	    

(参考) 当社IRに対する外部評価

- ◆証券アナリスト協会「2021年度ディスクロージャー優良企業」
化学・繊維 第3位
- ◆日興IR「2021年度ホームページ充実度ランキング」
最優秀サイト受賞
- ◆大和IR「2021年インターネットIR表彰」
優秀賞受賞
「2021年インターネットIRサステナビリティ部門」
優秀賞受賞
- ◆モーニングスター「Gomez IRサイトランキング2021」
銀賞受賞



(参考) 当社IRホームページのご紹介

http://www.nissanchem.co.jp/ir_info/index.html

- IR新着情報
- 日産化学ってどんな会社？
- 経営方針
- 業績・財務情報
- 株式情報
- IRカレンダー
- 株価情報
- 最新資料ダウンロード
などを掲載しています

**IRに関する最新情報について、
メールでお知らせします。
ぜひご登録ください。**

<https://www.nissanchem.co.jp/mail/index.html>

(参考) 主要製品、用途①

セグメント	製品名	主用途
化学品	<p>◆ファインケミカル</p> <p>テック メラミンアムレート ハライト</p> <p>◆基礎化学品</p> <p>メラミン 尿素、アトブルー 高純度硫酸 アンモニア、硫酸、硝酸</p>	<p>エポキシ樹脂： ソルダレジストインク材料、LED封止材材料、粉体塗料硬化剤 難燃剤</p> <p>塩素化イソシアヌル酸： プール、浄化槽用殺菌消毒剤</p> <p>合板用接着剤 アトブルー（ディーゼル車排ガス浄化用高品位尿素水） 半導体用洗浄剤</p>
機能性	<p>◆電子材料</p> <p>カンバー ARC® (KrF、ArF) OptiStack® (多層材料) OPTIFOCUS イルソス</p> <p>◆無機コロイド材料</p> <p>スノーテックス オルガノゾル・モノゾル アルミナゾル サンコイト® セルナックス オイル&ガス材料</p>	<p>液晶配向材用ホリミド®</p> <p>半導体用反射防止コーティング材、半導体用多層プロセス材料 (Si-HM、SOC) *ARC®およびOptiStack®はBrewer Science, Inc. の登録商標</p> <p>イメージセンサー用マイクロレンズ材料 有機EL用塗布型ホール注入材</p> <p>コロイダルシリカ： シリコンウェハー・アルミ、ガラスハードディスク研磨剤、 特殊鋼板、脱硝触媒、電子機器、紙・繊維表面処理</p> <p>有機溶媒・モノマー分散シリカゾル： フィルム表面処理、電子機器、樹脂添加剤 自動車用触媒、電子機器 眼鏡レンズ用高屈折率ゾル フィルム用帯電防止 シールオイル・ガス探掘効率向上材</p>

(参考) 主要製品、用途②

セグメント	製品名	主用途
農化	<p>◆ 除草剤</p> <p>タカ パーミット シリウス ラウンドアップ アルテア</p> <p>◆ 殺虫剤</p> <p>サンマイル、マイルコーネ、スターマイル グレース</p> <p>◆ 殺菌剤</p> <p>パールサー、イカルガ、グレートム (チフルザミト)</p> <p>ライメイ クインテック (キノキシフェン) ダイセン(マンゼブ)</p> <p>◆ 動物薬</p> <p>フルララネ</p>	<p>大豆、なたね、てんさい とうもろこし、さとうきび、稲 稲 非選択性茎葉処理除草剤： 非農耕地、果樹園 稲</p> <p>果樹、かんきつ、茶、野菜 野菜、茶</p> <p>ばれいしょ、稲、芝</p> <p>ばれいしょ、野菜、ブドウ</p> <p>果樹、野菜 果樹、野菜</p> <p>ペット用外部寄生虫薬ブラベクト、鶏用ワケモ駆除剤EXZOLT原薬</p>
医薬	<p>リハロ ファインテック</p>	<p>高コレステロール血症治療薬 医薬品技術開発型受託事業</p>
卸売	日星産業	
その他	物流、緑化、エンジニアリング、肥料	

ご視聴ありがとうございました。

免責事項

本資料に記載されている将来の当社事業に関する見通しは、資料作成時点で入手可能な情報に基づいて当社が判断したものであり、将来の当社業績を保証するものではありません。様々な不確実要素により、実際の業績は予測と大きく異なる結果になる可能性があります。また、本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断で行われるようお願いいたします。

本資料に掲載されている全てのコンテンツは、日産化学株式会社が所有しています。



Nissan Chemical
CORPORATION